

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	2163
部 名	企画部	課 名	渉外課	課長名	小林 茂
事務事業名	平和思想普及啓発事業				
予算上の事務事業名	平和思想普及啓発事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		18110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します				
基本施策名	第1節 世界とともに生きる地域社会の実現				事業開始年度
施 策 名	第1施策 国際平和への貢献				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市核兵器廃絶平和都市宣言					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
相模原市核兵器廃絶平和都市宣言(昭和59年12月)に基づき、平和思想の普及啓発のため昭和60年から「市民平和のつどい」を開催してきた。しかしながら、昨今の社会情勢等の変化や価値観の多様化などにより、事業の見直しを行い、パートナーシップの考え方に基づき、「市民平和のつどい」実行委員会との協働による事業実施を目的とする。			市民全員		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
「市民平和のつどい」平成16年11月6日(土)～11月14日(日) 9日間 ・市民平和フォーラム[平成16年11月7日(日) 午後 あじさい会館ホール 参加者 91名] ・写真展[平成16年11月6日(土)～11月14日(日) 相模大野ギャラリー 観覧者244名] ・平和映画[平成16年11月7日(日) 午前 あじさい会館ホール 参加者 106名] ・被爆者・戦争体験者のおはなし[平成16年11月7日(日) 午前 あじさい会館ホール 56名 平成16年11					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内他市においても同様な目的で事業を実施している。他市と比較し、実施内容は同等又はそれ以上のことを実施している。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	5,100	2,296	3,647	3,611	3,600
一般財源	5,100	2,296	3,647	3,611	3,600
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	5,201	3,457	3,454	3,454	3,454
事業コスト合計(a)	10,301	5,753	7,101	7,065	7,054
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	「市民平和のつどい」			対象名称(単位)	参加人数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	10,301	5,753	7,101	7,065	7,054
対象数	945	821	637	1,300	1,400
単位あたり経費(円)	10,901	7,007	11,148	5,435	5,039
前年度比		0.64	1.59	0.49	0.93

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	参加人数	指標式と指標の説明		「市民平和のつどい」への参加者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	945.0	821.0	637.0		
目標	1,000.0	1,050.0	1,100.0	1,150.0	1,200.0
目標達成度	0.95	0.78	0.58		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	参加者への平和意識普及	指標式と指標の説明		平和について意識した人/参加者数 平和について意識した人の割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	48.0	52.0	55.0		
目標	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0
目標達成度	80.0	80.0	78.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		本事業は、「核兵器廃絶平和都市宣言」に基づく平和思想の普及啓発を主目的としている。このため、実施した事業への参加人数を活動指標とし、その向上に努めた。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 平和思想の普及啓発のためには、学校等での教育の中で平和思想普及啓発のための授業等が必要である。現在、教育委員会と「市民平和のつどい」実行委員会、平和教育のための研究をしている。			14 課題として認識されたこと 事業後の参加市民のアンケートでは、事業内容についての評価は高い（実行委員会の分析）が、実際には参加者が少なく、事業周知等の問題が指摘されている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			